

病と闘う子どもと家族のサポートハウス

パンダハウス

News Letter

VOL.21 2025年9月号
(年2回 3月、9月発行)

発行

認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会 事務局
TEL 024-548-3711
〒960-8157 福島県福島市蓬萊町八丁目15番地1

HP <https://pandahouse.org>

facebook <https://facebook.com/npo.panda.house>

E-mail office@pandahouse.org



パンダハウスへの応援メッセージ



公立大学法人
福島県立医科大学医学部 小児科学講座 教授 **郷 勇人**

福島県立医科大学附属病院では、年間 1500 人を超える小児が小児病棟、新生児集中治療室 (NICU)、小児集中治療室 (PICU) で入院治療を受けています。

NICU には、早産児や先天奇形や先天性心疾患、新生児の外科疾患の赤ちゃんが入院します。在胎 28 週末満の超早産児の場合、出生体重は 200g 台から 1000g 台と非常に小さいからで出生します。ですので、自身での体温コントロールが難しく、加えて呼吸補助や循環の補助が必要な状況で出生するため、出生直後から NICU の保育器内で管理し、精密な点滴管理や、人工呼吸管理、循環管理をはじめとする集中治療を受け、成長して退院できるまでに数ヶ月間の入院治療が必要になります。また、児の成長には、母乳などの栄養面だけでなく、親子の愛着形成のために、頻回に面会して赤ちゃんに触れていただくことが重要です。県内全域から入院されております

ので、遠方のご家族はパンダハウスに滞在することで頻回に面会することが可能になります。

また、PICU では、心臓疾患、消化器疾患、脳疾患などの手術を受けたり、急性脳症や痙攣重積や、重症感染症などで集中治療を要する子どもたちが PICU で治療を頑張っている場合にも、ご家族はパンダハウスに滞在して病院の近くで見守り、すぐに会うことができます。

さらに、小児病棟に長期入院する子どもたちは、パンダハウスに外出や外泊をすることで、ご両親、ご兄弟と一緒に時間を過ごすことができます。我が家のように家族みんなで過ごす時間は、病氣と戦う子どもと家族にどれだけ力を与え、癒しになるでしょうか。また、パンダハウス相談室では、学習支援や治療後の就労支援なども行っていただいております。このようにパンダハウスは子どもたちとご家族をつなぎ、安心を与える場所となっています。

山本理事長を始め、パンダハウスを支えているスタッフの皆様、ボランティアの皆様に深く感謝申し上げます。これからも子どもたちと、ご家族に対する温かいご支援をお願いいたします。

5年ぶりに「いわき交流会」を開催しました



2025 年 3 月 22 日 (土) いわき市の常磐湯本温泉古滝屋にて、『すべての子どもが「子どもらしく」地域で暮らせるための支援の輪(いわき交流会)』を開催しました。

いわき市で子育て支援のホームスタートや様々な女性支援をなさっている「Commune with 助産師」、小児慢性特定疾病自立支援事業をいわき市から委託されている「なないろくれよんこども相談室」との共同開催となりました。

1 日だけの開催でしたが、それぞれの団体活動紹介やバザー出店、集まった子どもたちへ大型絵本の読み聞かせ、オカリナやインディアンフルート・ライヤーの演奏会、子どもの遊び場、相談コーナーなど、盛り沢山のイベントとなりました。支援の必要なお子さんだけでなく、すべての子どもたちにとっても、工夫されたおもちゃや工作、ゲームで楽しいひとときとなったようです。

ボランティアさんが茨城県や栃木県から駆けつけてくださり、久しぶりに一緒にでき、絆も強まったように思われました。

以前、ハウスを利用されたご家族とのなつかしい再会もあり、元気で過ごしの様子に一同笑顔であふれました。



オカリナ演奏



大型絵本の読み聞かせ



活動紹介の様子





「ふくしまシティハーフマラソン2025」に参加！ 福島医大病院に入院中のお子さんお手製のデコうちわで応援



2025年5月18日(日)「ふくしまシティハーフマラソン」が開催されました。昨年に続き、当会はランナー応援隊とおもてなしブースに参加させていただきました。

福島医大附属病院に入院中のお子さんご家族に、参加されるランナーの皆さんを応援するための「デコうちわ」を福島医大医学部と看護学部の学生さんにもご協力いただき作成しました。お子さんたちは、「ランナーさんにどうつたわるかなあ〜、走るのがんばってほしいなあ〜」と、ランナーの皆さんを思い浮かべながら制作に取り組んでくれました。

パンダハウス応援隊は、成蹊中学校前で福島医大の学生さん11名とボランティアの皆さんを合わせて総勢18名がデコうちわとダンスで声援を送りました。ランナーの皆さんは、苦しい中でも笑顔や手を挙げて応えてくださり、子どもたちと応援隊のエールはランナーの皆さんに届いたと思います。

また、おもてなしブースでは冷たいレモネードや、全国からお送りいただいた手作り品などを販売しました。福島学院大学の学生さんとボランティアさんのご協力、そして着ぐるみパンダの登場！もあり、多くのランナーさんに立ち寄っていただきました。



(子どもたちの力作です!)



(応援隊のみなさんありがとうございました。)



(福島学院大学の学生さん、おもてなしパークお疲れ様でした。)

その他活動報告 2025年3月～2025年7月

～「パンダハウスを育てる会」をアピールする活動を行いました～

第25回 JHHH ネットワーク会議

2025年2月8日(土)、毎年慣例の「第25回 JHHH ネットワーク会議」が東京の国立がん研究センターで開催されました。今年度は、こども家庭庁の内川麻実子氏にご登壇いただき、「こどもまんなか社会の未来に向けて」～こどもホスピスの取り組みをふまえて～と題した御講演がありました。当会の森相相談員も「病と闘う子どもと家族のサポートハウス パンダハウスのとりくみ」として、パンダハウスが病院との連携のもと、入院中の子どもたちの様々な活動を支援していること、まさにホスピスのご利用の様子を発表しました。

* JHHH ネットワークは「病院近くのわが家」の全国ネットワークです。それぞれに独立して活動しているホスピタル・ホスピタリティ・ハウスが、お互いにノウハウを共有し、運営の質的向上を図る目的で連携しています。

イオン福島店にて「幸せの黄色いレシートキャンペーン」店頭活動を実施

イオンでは、毎月11日「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施しています。お買上げレシート金額合計の1%に相当する額の物品が応援する団体へ寄贈されます。

当会もイオン福島店にて店頭活動を行っています。「パンダハウス」ボックスへの投函をよろしくお願いいたします。



「令和7年版こども白書」にパンダハウスが掲載されました

この度、こども家庭庁が発行している「令和7年版こども白書」にパンダハウスの活動が掲載されました。昨年末に完成した絵本「くまとなかまたち～さくらさけ～」についても紹介されています。こども白書をご覧いただくには、インターネットで「令和7年版こども白書」と検索して下さい。

令和7年度こども白書

検索

※全文(PDF) 74ページから76ページをご覧ください

～ボランティアの皆さんに支えられ活動しています～

ハウス花壇の花植えを行いました

2025年5月24日(土)国際ソロプチミスト福島の皆さんにハウス花壇の花植えを行っていただきました。ハウスを利用される方々やご近所の皆様の心を癒してくれるお庭になりました。



たざわさん'ず

パンダハウスから徒歩3分にある長秀院駐車場で5月から12月まで、毎週日曜日9:00～10:00に開催されている地元田沢地区の新鮮野菜を直販している「たざわさん'ず」、当会もチャリティーバザーを開催しています。

2025年6月1日(日)、7月6日(日)に実施しました。次回は、10月19日(日)たざわさん'ず感謝祭にて出店予定です。



フォーラム市場

2025年7月21日(月・祝)第1回フォーラム市場が福島市市民センター前広場にて、32店舗が参加し、当会もチャリティーバザーに出店しました。当日は快晴に恵まれましたが、酷暑となり熱中症対策のため閉会時間が1時間切上げとなりました。

「久しぶり!」とお声かけいただいたり、ポケットや飾りなど丁寧につくられたクオリティの高い手づくり品の品々に、感謝してご購入くださる方も多く、お客さんは少なめでしたが、皆様との嬉しい交流のひとつでした。

暑さの中、ご来場いただきました皆様、お手伝いいただきましたボランティアの皆様、ありがとうございました。





利用者の声



子どもの病気と入院でとてもつらい気持ちでした。自宅から医大には毎日通える距離ではなく、また産後の体と心もすごくまいっていました。その中でパンダさんの長期棟に泊めていただき安心して毎日子どもに会いに行くことができました。きれいでなんでも整っていて面会後はパンダさんでゆっくりすごすごことができました。感謝しかありません。

子どもが元気になったのは親の精神面もかかっていると思います。パンダさんにとても助けられました。まだまだ治療は続きますのでまたお世話になることと思います。ありがとうございました。

子どもが急遽 PICU に入院する事になり、初日は深夜の為、ビジネスホテルに泊まり 2 日目からパンダハウスを利用させて頂きました。心身ともに疲労困憊でしたが、とてもキレイで設備やアメニティが充実していて、自由にくつろぐことが出来て癒されました。スタッフやボランティアの方々の対応も親切で安心して過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。🍀

P.S.

スタッフの皆さんのあたたかい言葉や心遣いに、不安な気持ちが軽くなり救われました。感謝の気持ちでいっぱいです。ステキなパンダハウスに泊まらせて頂きありがとうございました！

今回初めて利用させて頂きました。大変お世話になりました。まずは、パンダハウス運営関係者の皆様、ボランティアの皆様へ深く御礼申し上げます。

私が住んでいる浜通りから福島医大病院へ行く為には、峠越えがあり冬季の時期は交通の面で不安があります。娘の入院期間中、さて、どうしようと夫婦で悩んでいたところ、パンダハウスの存在を知り利用させて頂く流れとなりました。スタッフの皆様もとても優しく、またハウス内はとても綺麗で安心して過ごせました。正直に申し上げますと、第 2 の「我が家」のように感じながらリラックスして過ごすことができました。

福島医大病院からも近い距離であり、娘の洗濯物を引取って洗濯に戻る等の負担も少なく、とてもありがたいと思いました。今回の利用で、パンダハウスの素晴らしさを体験し心から応援していきたいと思えました。本当にありがとうございました。

ハウスでくつろぐ子どもとご家族



※利用者の方から承諾を得て原文のまま掲載しています。



ボランティアさんの紹介

佐藤 希さん



私のパンダハウスとの出会いは、銀行に置かれていたパンフレットを夫が見つけたことがきっかけでした。

今はもう社会人になっている私たちの最初の子は双子で未熟児で生まれました。第一子は心臓に問題があり、数年ほど福島医大に通いました。東京での手術の可能性もあると話が出ていて、「もし手術になったらどうしよう。」「もう 1 人の赤ん坊を育てながらどうしたらいいんだろう。」「と、当時そんな不安を持っていたことを 2 人で思い出していました。パンフレットからそんな思いを抱える人

たちを支える施設があることを知り、寄付金という形で関わったのが最初のことでした。

その後、チャリティーバザー用品を届けにきた際に施設内の掃除ボランティアも募集しているとうかがい、週一くらいならできそうだと昨年からお手伝いさせていただいています。不思議と自宅の掃除よりも達成感がありますし、掃除の後のちょっとしたお茶の時間も楽しく過ごさせていただいています。

利用者様には少しでも快適に、私にとってはリフレッシュを兼ねて、ゆるゆるとこれからも続けていきたいなあと考えています。



～みんなのほ～るを活用しています～

須賀川支援学校・医大校の様子

2025年5月29日(木) 須賀川支援学校医大校の生徒さんがほ～るを利用して家庭科・自立活動「できることを増やしてクッキング」を実施しました。

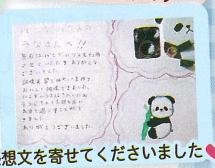
カレー作りでは人参を星やハート型に型抜きしたり、久しぶりの米研ぎをしました。学級活動ではミニパフェ作り、オリジナルドリンクも作ったそうです。



完成しました！



菜奈子さん奮闘中です



感想文を寄せてくださいました♡

福島アイラインのメンバー交流会

2025年5月24日(土) 福島アイラインのメンバーが交流会を開催しました。

医療的ケアが必要な当事者と家族、および支援者をつなぐ活動を行っています。病気や障がいがあっても、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられる社会作りを目指しています。

福島県立医科大学の学生さんもボランティアで参加してくださり、楽しい交流会となりました。



～パンダハウスは皆様からのご寄附・ご支援により成り立っています～

心より御礼申し上げます

改築後に利用していた洗濯機や掃除機など、利用頻度が高いこともあり故障による修理にて対応して来ましたが、おかげさまで交換することができました。



開東産業株式会社様より、洗濯機2台をご寄贈いただきました

一般社団法人遊びで支援 R 様から子どものおもちゃをご寄贈いただきました

有限会社ネットワーク調剤様より、冷蔵庫及び掃除機をご寄贈いただきました



ボランティアさん募集中

パンダハウスの内外を清掃して下さるボランティアを募集しています。

活動時間：10:00～12:00

- 利用者の居室、浴室、トイレ、リビングの清掃(毎日)
- 花壇の整備 花植え(6月・11月)、除草(4月～11月)
- 駐車場付近の草刈り(6月～10月)

パンダハウスは365日ご利用いただける施設です。活動日についてはご相談に応じます。

お気軽にお電話下さい、又はEメールでのお問い合わせをお待ちしています。
平日(月曜日～金曜日) 9:30～13:00
土曜日・日曜日・祝日 9:30～12:00
TEL: 024-548-3711
E-mail: office@pandahouse.org

室内清掃を終えて中庭でパチリ! ▼



ソファのほころびを修繕▲

賛助会員への加入およびご寄附のお願い

賛助会員

私たちの活動に賛同し、応援してくださる「個人」「企業」「団体」を募集しています。1口からご参加いただけます。

個人：(1口) 3,000円 団体：(1口) 10,000円

寄附金

金額はいくらでも結構です。

- 1.郵便局の払込取扱票にて下記へお振込みをお願いいたします。
- 2.オンライン寄附をご利用いただけます。(クレジットカード、Amazon Payでお支払いいただけます)



振込先

郵便為替口座
口座記号番号：02200-9-110330
加入者名：認定特定非営利活動法人パンダハウスを育てる会
*他金融機関から振込の場合
店名：二二九(二ニキュウ)店 当座預金0110330

認定NPO法人における 税制優遇

- ・個人が寄付した場合：寄附金控除を受けられます。
- ・法人が寄付した場合：損金算入限度額の枠が拡大されます。
- ・相続人が寄付した場合：寄付をした相続財産が非課税になります。

*詳しくは最寄りの税務署へお尋ねください。